



BRL-01A 簡単設定マニュアル

BROADBAND ROUTER

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



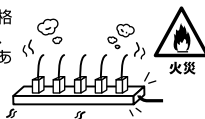
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



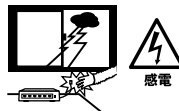
液体・異物はいれないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードをつけて移動しないで！

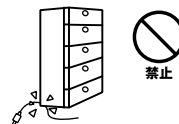
本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する（かじった部分からショートし発火する危険があります）

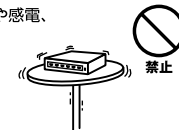


設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所

- ・直射日光のあたる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・腐食性のガスが発生する場所



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	
1. 概要	4
2. 梱包内容の確認	4
3. 各部の名称	5
2. コンピュータの準備	
1. コンピュータの準備	8
3. ハブ及びモデムとの接続	
1. ADSL/ケーブルモデムとの接続 (WAN側ポート)	12
2. ハブとの接続 (LAN側ポート)	13
3. 電源の接続	13
4. LEDの確認	14
4. bRoadLannerの設定	
1. パソコンのIPアドレスの確認	14
2. bRoadLannerの設定画面へのログイン	16
3. 簡単インターネット設定	17
4. 通常のPPPoE接続	18
5. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス	23

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

1 はじめに

1. 概要

本製品は、通常はパソコン1台でしか利用出来ない事が多い、CATV(ケーブルTV)インターネット接続やADSLインターネット接続を2台以上のコンピュータで利用できるようにするブロードバンドルータです。ADSLモデムやCATVケーブルモデムに接続する事で簡単に2台以上のコンピュータで同時にインターネットに接続できます。

本書は、Windows95/98/98SE/Me及びMacOSを搭載したコンピュータでこれからインターネットを始める方を対象にしています。

初めてインターネットに接続する方は、本紙の手順に従って設定を行って下さい。

注意

より詳細な設定をされる場合は、ユーザズマニュアルをお読みください。

本製品を利用して、2台以上のコンピュータでインターネットに接続する場合には、ハブを別途用意していただく必要があります。

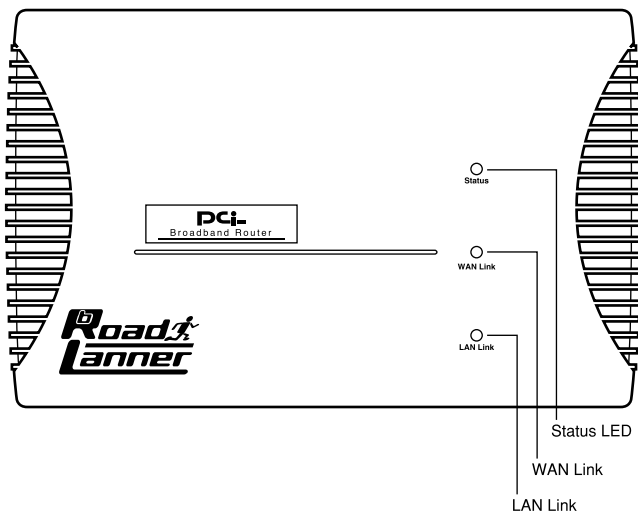
2. 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認して下さい。不足している場合はお手数ですが、弊社サポートまでご連絡ください。

BRL-01A 本体
BRL-01A用ACアダプタ
LANケーブル(ストレートタイプ) 1m
ショートケーブル1本
ユーザズマニュアル
本紙(BRL-01A簡単設定マニュアル)

3. 各部の名称

本体上面



「Status LED」

本製品がデータの送受信中に点滅します。また、電源投入時の起動時などの自己診断中にも点滅します。

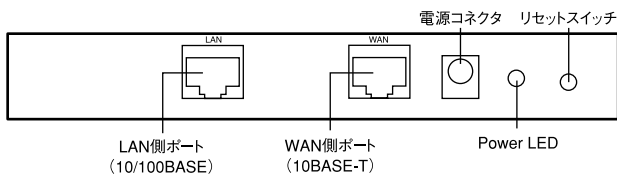
「WAN Link」

WAN側ポートのリンクが確立すると、緑色に点灯します。

「LAN Link」

LAN側ポートでリンクが確立すると、緑色に点灯します。

本体背面



「Power LED」

本製品に電源が供給されている場合に点灯します。本製品に付属のACアダプタを取り付け、アダプタを電源コンセントに差し込むと点灯します。

「LAN側ポート」

本製品をLAN側機器と接続するためのRJ-45 ポートです。通常はハブを接続します。

「WAN側ポート」

本製品をADSLモデムまたはケーブルモデムと接続するためのRJ-45 ポートです。

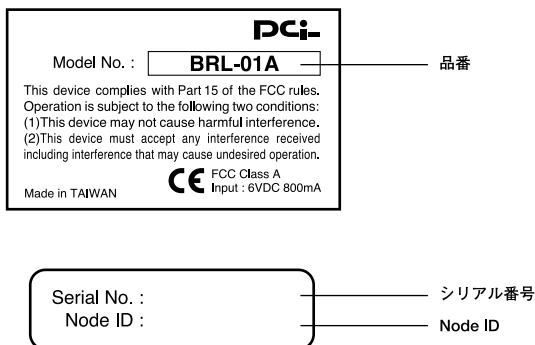
「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

「リセットスイッチ」

本製品を再起動する場合に使用します。本製品を再起動する場合はリセットスイッチを1秒間程度(STATUS LEDが点滅を始めるまで)押してください。

裏面ステッカー



「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

「Node ID」

本製品のMACアドレス(物理アドレス)です。プロバイダによってはADSL/ケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要な場合があります。その場合はこのMACアドレスをプロバイダに申請してください。

2 コンピュータの準備

本製品を使用する上で、必要なコンピュータの設定について説明します。

1. コンピュータの準備

bRoadLannerとパソコンの接続にはストレートタイプのLANケーブルを使用します。ご使用のパソコンがRJ-45 LANポートを備えているか確認してください。

注意

ご使用のコンピュータのマニュアルを確認してください。インターフェイスの項目に「RJ-45」と記載されていればLANポートを備えています。メーカーによっては「100BASE-TX/10BASE-T」と記載されている場合もあります。

最近のパソコンにはRJ-45 LANポートを備えている場合が多いですが、RJ-45 LANポートがないパソコンの場合には、デスクトップパソコンは別途PCIバス用LANボード(弊社型番:FW-100TX等)を、ノートパソコンはPCカードスロット用LANカード(弊社型番:FNW-3600-TX)を用意し、パソコンに取り付ける必要があります。

なお、LANボード/LANカードの取り付け及びドライバのインストールについては、パソコンのマニュアルとLANボード/LANカードのマニュアルをご覧ください。

注意

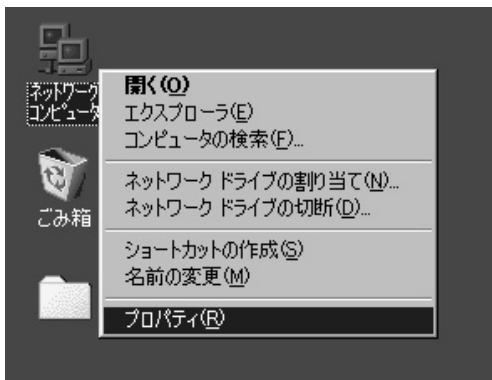
LANボード/LANカードは、本製品に付属しておりません。販売店等でお買い求め下さい。

LANボード/LANカードを取り付ける前に、必ずコンピュータとLANボード/LANカードのマニュアルをお読みください。

Windowsパソコンの設定

ここでは、Windows98/95での設定例について説明します。WindowsMe/NT/2000の場合は、若干設定画面が異なります。

1. デスクトップ上の「ネットワーク」アイコンをマウスで右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



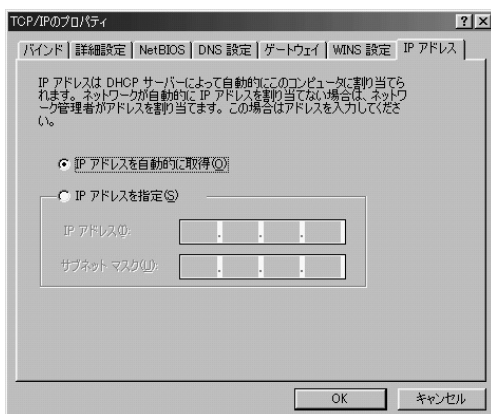
2. 「ネットワーク」のプロパティが開きますので、「現在のネットワークコンポーネント」に“LANアダプタ名”と“TCP/IP”が表示されているか確認してください。



“ LANアダプタ名 ”が表示されていない場合は、LANアダプタが正常にインストールされていません。LANボード/LANカードのマニュアルを参照にインストールしなおしてください。

“ TCP/IP ”が表示されていない場合には、TCP/IPプロトコルがインストールされていませんので、LANボード/LANカードのマニュアルを参照にインストールしてください。

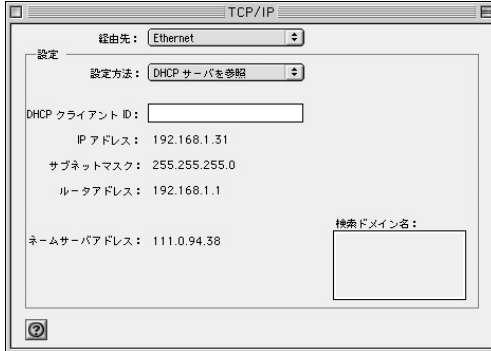
3. “ TCP/IP ”をダブルクリックしてください。ネットワークアダプタが複数ある場合には、“ TCP/IP->LANアダプタ名 ”と表示されていますので、ご使用になれるアダプタの “TCP/IP ”をダブルクリックしてください。
4. 「TCP/IPのプロパティ」が表示されます。“ IPアドレスを自動的に取得 ”にチェックマークを入れてください。チェックマークを入れたら[OK]をクリックしてください。パソコンが再起動を要求してきたら再起動してください。



これで設定は終了です。パソコンを終了させてから 3.パソコン及びモデムとの接続 に進んでください。

Macintoshパソコンの設定

1. アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択してください。
2. 経由先を“Ethernet”にしてください。TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「DHCPサーバを参照」に設定してください。



3. TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、設定を保存します。

これで設定は終了です。パソコンを終了させてから **3. パソコン及びモデムとの接続** に進んでください。

3 ハブ及びモデムとの接続

ここでは、bRoadLannerとハブ及びADSL/ケーブルモデムの接続について説明します。

⚠ 注意

接続の際は、bRoadLanner・ADSLモデム/CATVケーブルモデム・パソコンの電源を全て切って行って下さい。

1. ADSL/ケーブルモデムとの接続（WAN側ポート）

1. bRoadLanner付属のLANケーブルもしくは、ストレートタイプのLANケーブルの片側のコネクタをbRoadLanner背面のWAN側ポートとにカチッと音がするまで差し込んでください。
2. LANケーブルの反対側のコネクタをADSL/ケーブルモデムのRJ-45 LANポートにカチッと音がするまで差し込んでください。

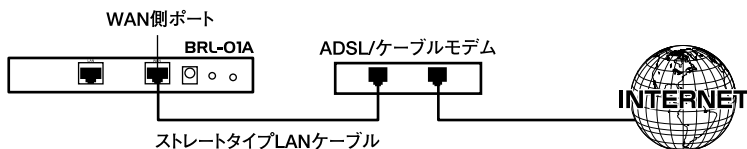


図3-1 ADSL/ケーブルモデムとの接続

⚠ 注意

ADSL/ケーブルモデムの種類によっては、本製品と接続する際にストレートケーブルでなく、クロスケーブルを必要とするものもあります。ADSL/ケーブルモデム側のRJ-45ポートがMDI-Xの場合はストレートケーブルを、MDIの場合はクロスケーブルをご利用ください。詳細については、お手持ちのADSL/ケーブルモデムのマニュアルを参照してください。

2. ハブとの接続（LAN側ポート）

1. ストレートタイプのLANケーブルの片側のコネクタをbRoadLannerのLAN側ポートにカチッと音がするまで差し込んでください。
2. LANケーブルのもう片側のコネクタをハブの通常ポートにカチッと音がするまで差し込んでください。（ハブのUplinkポートに接続する場合は、クロスタイプのLANケーブルを使って下さい。
3. ハブの通常ポートとコンピュータのRJ-45 LANポートを、ストレートタイプのLANケーブルで接続して下さい。

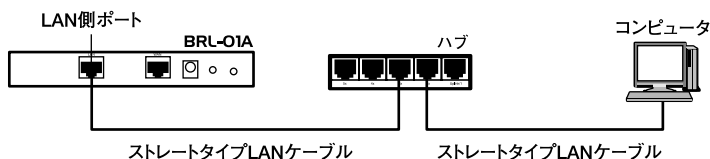


図3-2 ネットワークとの接続

3. 電源の接続

1. ADSL/ケーブルモデムとハブをそれぞれのマニュアルにしたがって電源を入れてください。
2. bRoadLanner付属のACアダプタをbRoadLannerの電源コネクタに接続してください。
3. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続してください。コンセントに直接、ACアダプタを接続できない場合は付属のショートケーブルをご使用ください。
4. コンピュータの電源を入れてください。

⚠ 注意

ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合は故障は保証の範囲外となります。

4. LEDの確認

すべての機器が接続されて、電源が接続されますと正常に動作している場合には「Power LED」と「WAN LED」及び接続されているLANポートの「LAN LED」が点灯します。点灯していない場合には、bRoadLannerのマニュアルから「付録A トラブルシューティング」を参照してください。

4 bRoadLannerの設定

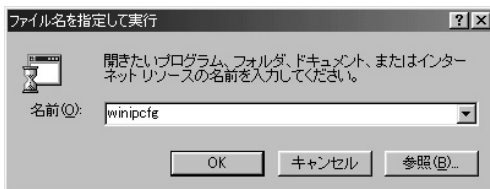
ここでは実際にインターネットに接続するためのbRoadLannerの設定について説明します。

1. パソコンのIPアドレスの確認

bRoadLannerは工場出荷時の状態でDHCPサーバ機能が有効になっています。これにより、接続されているパソコンはIPアドレスを自動的に割り当てられますので、IPアドレスの設定を意識する事なくご利用になれます。ここでは、コンピュータにIPアドレスが正常に割り当てられているか確認する方法について説明します。

Windowsパソコンの場合

1. スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。
2. 「名前」に winipcfg と入力して[OK]ボタンをクリックします。

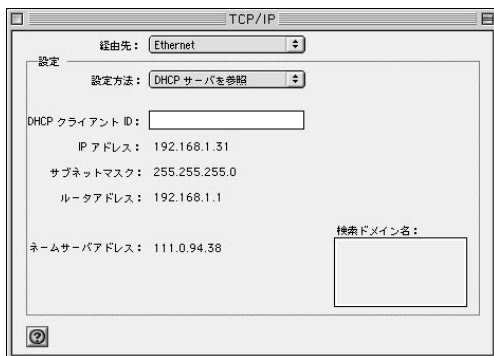


3. IP設定ウィンドウが表示され、現在のIPアドレスが表示されます。bRoadLannerが工場出荷時の状態の場合には 192.168.1.xxx(xxxは21 ~ 120) というIPアドレスが割り振られます。ここでIPアドレスが正常に割り振られていない場合には、bRoadLannerとパソコンの接続を確認して、パソコンを再起動させてください。



Macintoshパソコンの場合

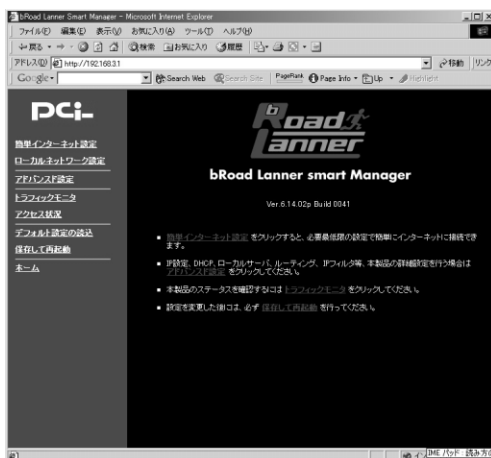
1. アップルメニューから「コントロールパネル」「TCP/IP」と選択してください。
2. TCP/IPウィンドウが表示されます。現在のIPアドレスが表示されます。



3. 「IPアドレス」に表示されている値が現在のIPアドレスです。bRoadLannerが工場出荷時の状態の場合には 192.168.1.xxx(xxxは21 ~ 120) というIPアドレスが割り振られます。ここでIPアドレスが正常に割り振られていない場合には、bRoadLannerとパソコンの接続を確認して、パソコンを再起動させてください。

2. bRoadLannerの設定画面へのログイン

1. パソコンが起動したら、Webブラウザを起動してください。
2. WebブラウザのURLを入力する欄(Netscape Navigatorでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」)に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.1」を入力し、Enterキーを押してください。
3. 本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。デフォルトの管理ユーザー名「admin」と、デフォルトのパスワード「password」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。
4. 本製品のメインメニューが表示されます。



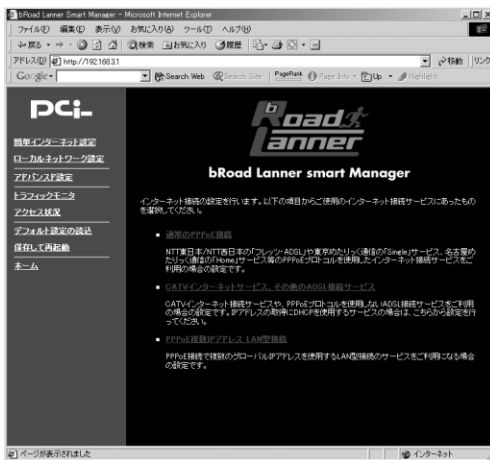
⚠ 注意

WebブラウザからbRoadLannerを設定するには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。
Netscape NavigatorまたはMicrosoft Internet Explorerのバージョン4.0以降の使用を推奨します。

3. 簡単インターネット設定

bRoadLannerは、最小限の設定でインターネットに接続出来るように構成されています。ここでは、PPPoEを利用したADSL接続サービスの他、通常のADSL接続サービスや、CATVインターネット接続サービスでbRoadLannerを使用する方法について説明します。

1. Webブラウザで設定画面を開きます。
2. [メインメニュー] またはWWW ブラウザの画面左側から、[簡単インターネット接続設定]の文字をクリックします。
メインメニューに[簡単インターネット接続設定]ページが表示されます。



3. ご利用のインターネット接続サービスのタイプを選択します。
メインメニューに3つの選択肢が表示されます。ご利用のインターネット接続サービスを選択してください。

通常のPPPoE接続

NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ・ADSL」や東京めたりっく通信の「Single」サービス、名古屋めたりっく通信の「Home」サービス等のPPPoEプロトコルを使用したインターネット接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。

こちらの場合は「4. 通常のPPPoE接続」に進んでください。

CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス

CATVインターネット接続サービスや、PPPoEプロトコルを使用しないADSL接続サービスをご利用の場合はこちらを選択してください。また、IPアドレスの取得にDHCPを使用するサービスの場合は、こちらから設定を行ってください。

こちらの場合は「4-5 CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス」に進んでください。

PPPoE複数IPアドレス LAN型接続

PPPoE接続で複数のグローバルIPアドレスを使用するLAN型接続のサービスをご利用になる場合こちらを選択してください。

設定方法についてはBroadLannerのユーザーズマニュアルを参照してください。

4. 通常のPPPoE接続

[通常のPPPoE接続]では、PPPoE 方式を採用したADSL インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。

注意

PPPoE接続ではないADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[5. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]から設定を行ってください。

また、複数の固定グローバルIP アドレスが割り当てられるPPPoE インターネット接続サービスの場合は、[PPPoE 複数IPアドレス LAN型接続]から設定を行ってください。

メインメニューの[簡単インターネット接続設定]ページから [通常のPPPoE接続]を選択します。[通常のPPPoE接続]ページが表示されます。表示される設定項目に必要な情報を入力します。

ログインユーザ名

プロバイダから指定されたPPPoE 接続ユーザ名を、正確に入力してください。
「フレッツ・ADSL」の場合は「@」(アットマーク)以下も入力します。
(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

例:pci011@planexbrl.ne.jp

⚠ 注意

最大64 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続ユーザ名はメールアドレス名などと異なる場合があります。

ログインパスワード

プロバイダから指定されたPPPoE 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても“ * ”(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

例:rY0Co%Mtu

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE接続パスワードはメールアドレスなど異なる場合があります。

サービス名

プロバイダから指定されたPPPoE サービス名を正確に入力してください。特に指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例:PPPServ

注意

最大32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

サービスオンデマンド

パソコン上でWWW ブラウザを起動した場合など、LAN 側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスの場合は「有効」に設定することをお勧めします。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

注意

従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[アドバンスド設定]-[PPPoE接続の診断]ページで手動接続しなければなりません。

自動切断

PPPoE でインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。"0 ~ 120"の範囲で指定できます。自動切断したくない場合は、この欄に"0"を入力してください。
(工場出荷時の状態では「5」に設定されています。)

例: 3

IPアドレスの自動取得

IP アドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は「有効」、IP アドレスが固定で割り当てられている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「ルータIPアドレス」も設定してください。
(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

ルータIPアドレス

IP アドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定されたIP アドレスを入力します。
(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 153.16.10.40

DNSサーバアドレスの自動取得

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動的に取得する場合は「有効」、DNSサーバのIP アドレスが固定で指定されている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「プライマリDNSサーバ」及び「セカンダリDNSサーバ」も設定してください。
(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

プライマリDNSサーバ

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。
(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 172.16.1.10

セカンダリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたセカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。

(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 172.16.1.11

MSS(Maximum Segment Size)

MSS(Maximum Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1412)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

注意

MSS 値はインターネットスピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合でMSS 値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください。
「フレッツ・ADSL」の場合は、必ず1414以下の値でご使用ください。

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

本製品の再起動後にパソコンを再起動してください。再起動後にインターネットに接続できます。

注意

インターネットに正常にアクセス出来ない場合は、bRoadLannerのユーザーズマニュアルから付録A「トラブルシューティング」を参照してください。

以上で、設定は終了です。

5. CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス

[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]では、通常のADSL/CATV インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。

⚠ 注意

PPPoE 接続ADSL インターネット接続サービスの場合は、[通常のPPPoE接続]から設定を行ってください。

メインメニューの[簡単インターネット接続設定]ページから[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]を選択します。[CATVインターネットサービス、その他のADSL接続サービス]ページが表示されます。表示される設定項目に必要な情報を入力します。

The screenshot shows the 'bRoad Lanner smart Manager' web interface in a Microsoft Internet Explorer browser window. The address bar shows 'http://192.168.31'. The left sidebar contains a menu with options like '簡単インターネット設定', 'ローカルネットワーク設定', 'アドバンスド設定', 'トラブルシューティング', 'アクセス設定', 'デフォルト設定の復元', '再起動', and 'ホーム'. The main content area is titled 'CATVインターネット接続の設定' (CATV Internet Connection Settings) and includes a dropdown menu for 'IP設定の自動取得(DHCP取得)' set to 'する' (Yes). Below this are input fields for 'WAN側IPアドレス' (255.255.255.0), 'WAN側サブネットマスク' (255.255.255.0), 'WAN側デフォルトゲートウェイ' (255.255.255.0), 'DNSサーバIPアドレスの自動取得' (無効), 'プライマリDNSサーバIPアドレス' (255.255.255.0), and 'セカンダリDNSサーバIPアドレス' (255.255.255.0). There are also fields for 'ドメイン名' and 'ホスト名'. A '適用' (Apply) button is at the bottom.

IP設定の自動取得(DHCP取得)

プロバイダからIP アドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」を、IP アドレスが固定で割り当てられる場合は「しない」を選択します。「しない」を選択の場合は以下の項目に関しても設定してください。

(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

WAN 側IPアドレス

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたIP アドレスを入力してください。
(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 153.16.10.40

WAN 側サブネットマスク

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。
(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例: 255.255.255.240

WAN 側デフォルトゲートウェイ

IP アドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。
(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例: 153.16.10.36

ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。
ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、LAN 上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。
この設定を行うと本製品のDHCPサーバ機能によってIP アドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。
プロバイダからドメイン名を指定されている場合は、指定されたドメイン名を入力してください。
(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例: Planex.com

ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。
(工場出荷時の状態では「brl」に設定されています。)

例: Mymachine

DNSサーバアドレスの自動取得

DNSサーバのIPアドレスをプロバイダから自動的に取得する場合は「有効」、DNSサーバのIP アドレスが固定で指定されている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「プライマリDNSサーバ」及び「セカンダリDNSサーバ」も設定してください。

(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

プライマリDNSサーバ

プライマリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。

(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.10

セカンダリDNSサーバ

セカンダリDNSサーバのIPアドレスがプロバイダから固定で指定されている場合は、プロバイダから指定されたセカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。プロバイダからセカンダリDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。

(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例：172.16.1.11

入力内容を確認し、正しければ[適用]ボタンを押してください。

「設定を保存して再起動します。」メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押してください。[はい]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約10秒かかります)

本製品の再起動後にパソコンを再起動してください。再起動後にインターネットに接続できます。

注意

インターネットに正常にアクセス出来ない場合は、bRoadLannerのユーザズマニュアルから付録A「トラブルシューティング」を参照してください。

本正否には、このほか、DHCPサーバ、ローカルサーバ機能、バーチャルコンピュータ機能、IPフィルタリングの、より、高度な設定を行うことが可能です。これらの設定方法については、ユーザズマニュアルをご覧ください。

以上で設定は終了です。

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

<http://www.planex.co.jp/>